

1. 事業が目指すところ

子育てサークルや支援グループ、講座やワークショップなどの開催意欲をお持ちの個人など、特に子育て世代の新しいプレイヤーを対象に、活動場所の提供、情報提供と地域連携・紹介、IT 機器（PC、プリンタ等）の貸出、広報活動、交流イベントの企画運営等の支援を行っています。市営住宅集会所を多様な団体の活動拠点として開放することで、運営側、参加者側のいずれにとっても日常的な多世代交流の居場所が生まれています。子育て世代に関わらず孤立を防ぎ、だれもがいつまでも安心して暮らしやすい街の実現のため、若い世代の主体的な地域活動プレイヤーの育成を目指しています。

2. 活動内容と実績

【中間支援の内容】

▶当法人が主催するイベント・交流事業に参加（イベント参加機会の提供）

こども夏まつり 87 名、ハロウィン交流会 25 名、クリスマス交流会 31 名、リフレッシュ交流会 33 名、

▶相談支援

5 団体（キラキラキッズ、わくわく LABO★TETE、こどもいろ、MomLabo、兵庫駅南公園こどもフェスタ実行委員会）、個人 10 名

▶対象団体が主催する活動を支援（会場提供・広報サポート・地域連携・運営協力）

計 8 団体 93 回（1 月末時点）



| | |
|-----------------|---|
| ①相談業務 | 随時受付により個別相談対応。会場・広報の提供。講座、イベント開催に向けての助言とサポート |
| ②情報提供・ネットワークの構築 | ホームページ、SNS による広報支援。交流イベントの開催、兵庫区の子育てサークル情報共有、フライヤー制作、情報発信、託児サポート、相談窓口情報提供、マッチング |
| ③人材育成の取組 | 交流イベントの企画運営、調整、スケジュール管理、スタッフ配置、SNS 発信、広報など OJT による随時レクチャーを実施。 |
| ④書類作成指導業務 | SNS バナー制作、オンラインフォーム制作、フライヤー制作のレクチャーとサポート |

3. 成果や課題点

- 成果：主に子育て世代のスタートアップ、「こどものための活動」の企画運営の中間支援に特化して取り組むことで、地域のこどもたちの多彩な体験活動の機会が増えました。他の支援事業との相乗効果もあり、孤立しがちな子育て世代の地域との新しい接点生まれ、結果的には世代を超えていつでも相談できる居場所の継続につながりました。
- 課題：共働き世帯、あるいは困窮世帯の増加もあり、中間支援の対象となる子育て世代の地域プレイヤーが減少している印象があります。ただ防災の観点からも日ごろからの地域のつながりづくりは必須のため、少人数であっても意欲あるプレイヤーへの継続的で粘り強い支援が求められています。

4. 今後の展望、成果の活用

広報活動を継続し、地域活動を始めたばかりの支援対象となる団体や個人に、支援が行き届くように積極的にアプローチしていきます。1 つの団体や個人レベルで実現できることは限られてしまうこと、また広報や集客に対するそれぞれの苦勞など、共通する課題の解決に向けて、共に相談し合い協力するための、さらなるネットワーク強化に努めていきます。